

緑陰通信

News from the shade of trees

目次

■公図連研修会(選書研修会)	… P2
■ビジネス支援サービス	… P2
■ご寄稿いただきました	… P3
■大人のためのおはなし会	… P3
■県立図書館からのお知らせ 図書館評価、第62回「こどもの読書週間」関連行事 について など	… P4

※緑陰通信は県立図書館のホームページ
(<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>)からもご覧いただけます。

神話・民話の「語り部」の活躍を期待して ～国文祭・芸文祭みやざき2020へ向けて～



■ 語り部スキルアップ講座



県立図書館では、宮崎に伝わる神話や民話を次世代に継承するため、平成25年度から30年度にかけて「語り部」の養成事業を実施しました。これを踏まえ本年度、語りのスキルを更に向上させ、地域のイベントや令和2年度に行われる国文祭・芸文祭で活躍してもらうことを目的として、「語り部スキルアップ講座」を開講しました。

講座は、門川町立図書館と三股町立図書館の2会場で、それぞれ6月から9月にかけて月1回、計4回、実施しました。講師として、門川会場ではアニメ「クレヨンしんちゃん」で主人公の祖父を演じた県内在住の声優 池田知聡 氏、三股会場では劇団こふく劇場の俳優 あべゆう 氏を迎え、発声方法や呼吸法をはじめとした、より専門的・実践的なトレーニングを行いました。講師の方々のユーモラスな話術と丁寧かつ熱心な指導で、参加者の方々は楽しく受講されていました。最終日には受講者一人一人に発表してもらい、スキルアップの度合いを確認しました。今後様々なイベントで、受講者の方々の活躍が期待されます。

■ 神話の源流を語る会

「語り部スキルアップ講座」の受講者の中から、地域ごとに2名から3名に分かれて、10月26日(土)門川町立図書館、11月2日(土)宮崎県立図書館、11月6日(水)三股町立図書館において、



各館のイベントの中で語りを披露していただきました。語った神話は、県立図書館が発行した「みやざき言の葉～神話・伝承・民話編～」の中に掲載されている「天孫降臨」「天の岩戸開き」「海幸彦と山幸彦」などです。語り部の皆さんは、話を暗唱して感情を込めて語るだけでなく、方言で語ったり大きな身振り手振りを交えたり、衣装を自前で用意したりと、スキルアップ講座で身につけた豊かな表現方法に独自のアイデアを盛り込んで、聴衆の方々を神話の世界に引き込みました。



「宮崎県公共図書館連絡協議会第4回職員研修会(選書研修会)」が行われました

宮崎県公共図書館連絡協議会は、県内の公共図書館及び公民館等図書室等の相互の連絡を密にし図書館事業の進展を図ることを目的として昭和33年に発足しました。

昭和48年には全市町村が加入し、県内の読書活動を推進する大きな組織として発展しています。

12月9日(月)・10日(火)に行われた宮崎県公共図書館連絡協議会第4回職員研修会(選書研修会)は「選書」をテーマとして実施され、延べ56名の県市町村立図書館・図書室職員が参加しました。

県内には店舗販売を行う書店のない地域もあり、本を手にとって選ぶ機会の少ない図書館(室)もあります。研修会は宮崎県書店商業組合との共催により行われ、16,600冊の本が会場である県立図書館2階研修ホール等に展示されました。参加者は実際に本を手に取り、内容を確認しながら各館の収集方針等に基づき選書を行いました。また研修会の後半では、展示会場から各自が選んだおすすめの1冊を持ち込み、想定している利用者やその本を選んだ理由などを紹介し合うワークショップを、試行的に学校図書館関係者(学校の先生方)と合同で行いました。それぞれの経験に基づいた互いの選書の視点を知ることで、これまでの選書を振り返り、多様な考えに触れ、新しい視点を取り入れるよい機会となったようです。



研修会場での選書の様子

この研修で得たものを今後の読書環境づくりに役立てていただけることと思います。



図書館の「ビジネス支援サービス」をご存じですか？



閲覧室内ビジネス情報コーナー

図書館ではいろいろなサービスを行っています。そのひとつ、ビジネス支援サービスを紹介します。

ビジネス支援サービスとは、働く「人」と仕事・生活に役立つような「本や情報」をつなげることで、経済活動を支援する「サービス」です。

仕事をする際には、事業の成否を握るような重要な判断を行う場面もあると思いますが、そのための情報を家族や友人、同僚など身近なところから得ていませんか。

「良薬口に苦し」といいますが、耳の痛い情報や聞きたくない情報は、右から左へ抜けていくことが多いのではないのでしょうか。根拠のない「大丈夫!」は判断を誤らせます。必要な情報を正確かつ十分に集めないと、判断を誤るリスクが増すことになります。

判断するために有益な情報は、有料であることが多いです。しかし、図書館では本を活用して正確な情報を見つけることができます。体系的・網羅的な知識は図書館の得意分野です。また、県立図書館を会場にした相談会やセミナーも実施しています。ビジネス情報を収集する一手段として、ビジネス支援サービスを利用してみてはいかがでしょうか。

ビジネス情報コーナー

閲覧室内の一角にて会社年鑑、各種業界年鑑・名鑑等のビジネス関連図書、ビジネス関連雑誌、企画情報誌など約800冊を展示

ビジネス相談会

閲覧室内対面朗読室にて毎月第一を除く木曜日と第三日曜日に宮崎県産業振興機構派遣のコーディネーターによる相談会を実施

ご寄稿いただきました

『開かれた図書館』

NPO法人国際ビフレンダーズ宮崎自殺防止センター
相談員 片平 久美

当NPO法人では、自殺防止に関わる夜間電話相談、講演、電話相談ボランティア養成等を行っていますが、活動のひとつとして毎月県立図書館の一室で自死遺族の分かち合いの会「ランタンのつどい」を開催しています。

大切な家族を喪う悲しみは重く辛いものです。とりわけ自殺の場合は突然であり衝撃は強く複雑な感情が長く続きます。自死遺族には安心・安全な「話せる場」と「時間」が必要ですが、自殺に対する世間の偏見から遺族はこの悲しみを語り合えず、故人を悼む「喪の作業(グリーフワーク)」が十分にできません。

静かな環境であり、人々の自然な出入りがあり誰にも注目されることなく仲間と喪失感情を分かち合い、生きる元気を取り戻すことができる、さらには人生の課題を解決する力になる蔵書が豊富にある図書館は、つどいに参加する遺族の安心できる、開かれた場所なのです。

ところで、夜間電話相談では相談者の支えとなった本を紹介される時があります。ある方はご自身が精神的に病み「死にたい」と思った時、南木佳士の『ダイヤモンドダスト』(文藝春秋)、『阿弥陀堂だより』(文藝春秋)を読み、病気回復への希望が芽生えたと話されました。医師でもある著者は自身がうつ病等に苦しんだ経験があるのですが、作品にはその心情が丁寧につづられ、それが自分のことのように伝わったのだそうです。

また、県立図書館には様々な病気の体験記を集めた闘病記のコーナーがあります。うつ病については『うつヌケ』(田中圭一/著 KADOKAWA)や『うつ病九段』(先崎学/著 文藝春秋)などが読みやすく、お薦めです。



「大人のためのおはなし会」を開催しました



児童室内「おはなしのへや」では、毎週こども向けのおはなし会を行っていますが、大人の方にも気軽に絵本を楽しんでいただきたいという思いで、今年度も、大人も楽しめる絵本の読み聞かせを3回(7月、11月、2月)行いました。参加者の皆さまと一緒に絵本の世界を楽しむことができました。ありがとうございました。

【おはなし会で紹介した本のリスト】

タイトル	著者	出版社
語り「えんまと交代」 新装『日本の民話』11 九州(一)		ぎょうせい
ZOOM	イシュトバン・バンニヤイ/著	復刊ドットコム
えほん遠野物語 まよいが	柳田邦男/原作 京極夏彦/文 近藤薫美子/絵 岩倉千春/編	汐文社
大根はエライ	久住昌之/文・絵	福音館書店
ハルばあちゃんの手	山中恒/文 木下晋/絵	福音館書店
しあわせになあれ	弓削田健介/詩 松成真理子/絵	瑞雲舎

県立図書館からのお知らせ

■県立図書館評価について

宮崎県立図書館では、図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年12月19日文部科学省告示第172号）に基づき、図書館サービスの水準の向上を図り図書館の目的及び社会的使命を達成するため、毎年度の取組実績について評価を行っています。

今年度は平成30年度の取組実績について内部評価を行い、その後、図書館協議会委員の皆さまによる外部評価を受けました。その結果、5つの評価項目全てについて「B」（良好である）でした。詳しい評価結果については県立図書館ホームページで公開しています。

今後は、まだ成果が十分に上がっていない課題に応じた情報サービスや「知の共有・創造」の場の提供などに重点的に取り組み、図書館サービスのさらなる改善・充実を図っていきたいと考えています。

■新着図書のご案内コーナー



児童書

『令和のころ 万葉の世界と梅花の宴』
上野誠／著 花村えい子／絵（ミネルヴァ書房）

「令和」という元号の由来となった万葉集の言葉が、小学生から楽しめる絵本になりました。この春、改めて「令和」という言葉を味わってみませんか。



県立図書館の資料の購入には、宝くじの収益金の一部が使われています。 宮崎県

■第62回「こどもの読書週間」関連行事について

令和2年4月23日は「子ども読書の日」です。県立図書館では、この日の前後約3週間を「こどもの読書週間」として、子どもたちに読書の楽しさや喜びを感じてもらえるような催しをしています。ぜひご来館ください。

◆ワークショップ1 【科学あそび】「音であそぼう！～おもちゃ作り～」

4月25日（土）10:00～11:30 ※要申込
講師：佐藤 和子 氏（宮崎子どもの本に親しむ会、科学あそび研究員）



◆講座「2020年度 もっと知りたい！読み聞かせ講座」

4月26日（日）10:00～12:30 ※要申込
講師：浅部 和子 氏
（宮崎子どもと本をつなぐネットワーク、宮崎子どもの本に親しむ会）



◆ワークショップ2「ふしぎな家をつくってみよう」

5月3日（日）10:00～11:30 ※要申込
児童室担当職員によるかんたんな工作

◆こどもの読書週間関連企画展示

4月21日（火）～5月10日（日）

◆図書館職員やボランティア団体による読み聞かせ

毎週火曜日（14:00～14:30）、水曜日（15:00～15:30）、土曜日（15:00～16:00）
※祝日を除く

前回の様子

※ 要申込のイベントへの参加申込は、お電話、県立図書館カウンターにて承っています。

【情報提供担当】0985-29-2596

ご利用案内

開館時間 ■一般閲覧室：9:00～19:00
■児童図書室：9:00～17:00

休館日 ■毎週月曜日（祝日の場合翌日）
年末年始：12/29～1/4
特別整理期間：2月下旬

編集・発行

宮崎県立図書館

所在地 ■〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1
TEL ■0985-29-2911（総務・企画課）
FAX ■0985-29-2491（総務・企画課）
HPアドレス ■<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

